

# 令和7年度 桜町中学校グランドデザイン

★はじめに・・・桜町中学校区では昨年度コミュニティースクールが発足し、小中一貫教育推進委員会とリンクした活動をスタートさせた。今年度は内容をより充実させ小学校で培った土台を受け継ぎ、義務教育9年間の後半を担う中学校として、15歳の春に自立し「ひとりだち」できる生徒の育成を目指したい。

## 「小中一貫教育 共通目標」

ひとりだち

1年⇒他律

2年⇒自律

3年⇒自立

## 「目指す生徒像」

- (知) 課題意識と志をもち、常に考える  
「**学びに向かう力**」を備えた生徒
- (徳) 自分も相手も大切にし、仲間と共に  
**思いやりの心**を磨く生徒
- (体) 目標をもち、自分の可能性に挑戦し、  
体を鍛える**たくましい**生徒

## 「桜町中の生徒」

- 明るく人懐っこい
- 自己肯定感が高い
- 思いやりがある
- 困っている人を進んで助ける
- △家庭学習の時間が少ない
- △ゲームやSNS等の使用時間が長い

## ★R7重点目標 「チャレンジ(挑戦)」

～挑戦しないことは最大の失敗である～

### ◆学びに向かう力

### ★「一人一人が考え、表現する言語活動を大切にしたい、学ぶ意欲と確かな学力の育成」

#### <取組の具体>

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業展開  
～生徒主体の「自分の考えを持つ⇒対話する⇒深く考える」場面を設定する～
- ICTを活用した振り返りによる「言語化する力」の育成  
～タブレットを活用した振り返りを通じ、「他者参照」や「自己調整学習」の場면을意図的に設定し、「言語化する力」の育成を図る～
- TT指導によるきめ細かな個別支援  
～積極的なTT体制を構築し、個々の生徒のつまずきや言語化の支援を通じ、基礎学力とコミュニケーション力の育成を図る～

### ◆思いやりの心

### ★「人として正しいか、人としてどう生きるべきかを念頭に置き、行動できる生徒の育成」

#### <取組の具体>

- 全ての教育活動を通じた自ら善悪の判断ができる生徒の育成  
～人として誤った行いは毅然と指導すると共に、個々の生徒の悩みや葛藤に寄り添い、愛情を持って接しながら生徒の内面の成長を支援する～
- 自己肯定感と豊かな心の育成  
～多様な考えに触れることで自分を見つめなおし、多面的・多角的に事象を捉える活動を通して自己肯定感を高め、他を思いやる豊かな心の育成を図る～
- 体験学習・キャリア教育を通じた社会人としての資質の育成  
～地域や関係機関の人材を講師に迎えたり、体験学習・キャリア教育を積極的に取り入れ、将来の夢や希望を持たせ、社会人としての土台となる職業観や勤労観の育成を図る～

### ◆たくましい体

### ★「変化の激しい未来を生き抜く土台となる、たくましい体の育成」

#### <取組の具体>

- 健やかな体の育成  
～保健体育の授業や部活動を通して、体を動かす楽しさを味わわせ、基礎体力と運動技能の向上を目指すとともに、たくましい心身と運動習慣の確立を図る～
- 自己健康管理意識の確立  
～体づくりの基本となる食に関する意識を高めるとともに、将来の土台となる健康管理意識や自己管理能力の育成に努める～